

平成 26 年度 平塚市美術館年報 目次

作品.....	1
(1) 収集	
(2) 展示	
(3) 貸出	
展覧会.....	4
(1) 企画展 石田徹也展 - ノート、夢のしるし -	
(2) 特集展 袴田京太郎展 - 一人と煙、その他 -	
(3) 特集展 新収蔵品展	
(4) 企画展 ブラティスラヴァ世界絵本原画展 絵本をめぐる世界の旅	
(5) 企画展 横山大観の富士展	
(6) 特集展 現代日本画の巨匠 松尾敏男展	
(7) 特集展 ロビー展 小田薫の彫刻 - 記憶の住処 -	
(8) 特集展 冬の所蔵品展 - 太陽と月と星をめぐる絵画	
(9) 特集展 春の所蔵品展 気になる!大好き!これなあに?赤ちゃんたちのセレクション	
教育普及.....	17
その他の事業.....	24
(1) 事業	
(2) 団体向け研修・体験プログラム	
(3) 実習および職場体験受け入れ	
(4) 定例会議	
(5) その他	
施設利用者等の統計.....	30
(1) 展覧会	
(2) 貸出施設	
施設の管理.....	32
(1) 防災訓練	

作品

(1) 収集

寄贈作品

NO	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	材質	員数
1	相澤 豊治	春田	2006年	100.0×100.0	彩色・紙	1面
2	入江 観	浮雲	1985年	97.0×145.5	油彩・キャンバス	1面
3	入江 観	彫像のある庭園	2006年	162.0×130.3	油彩・キャンバス	1面
4	瓜南 直子	夜の図鑑	2011年	90.0×90.0	ミクストメディア・キャンバス、板	1面
5	瓜南 直子	あきつしま	2007年	71.7×44.2	ミクストメディア・キャンバス、板	1面
6	瓜南 直子	望月	2007年	71.7×44.2	ミクストメディア・キャンバス、板	1面
7	黒田 古郷	鳩	不詳	39.4×51.1	彩色・絹	1幅
8	高良 眞木	ひまわりの咲く風景	1957年頃	45.0×38.0	油彩・キャンバス	1面
9	高良 眞木	(10)池のほとり	2003年	28.8×40.8	淡彩・紙	1面
10	高良 眞木	(11)村人たち	2003年	28.8×40.8	淡彩・紙	1面
11	高良 眞木	(15)笛の音	2003年	28.8×40.8	淡彩・紙	1面
12	高良 眞木	(14)大きな割れ目	2003年	28.8×40.8	淡彩・紙	1面
13	佐々木 豊	悪い夢	1974年	130.3×162.1	油彩・キャンバス	1面
14	佐々木 豊	薔薇爆弾	2011年	227.3×363.6	油彩・キャンバス	1面
15	烏海 青児	雛図	不詳	27.1×24.0	彩色・絹	1面
16	積山 恭平	編む女	1975年	91.0×72.7	油彩・キャンバス	1面
17	積山 恭平	ジャポニカタベストリー	1999年	194.0×162.0	油彩・キャンバス	1面
18	中川 久	Q-12-8-A(それぞれの細部が全体を凌駕し始める時)	2012年	204.0×309.0	アクリル絵具、和紙・綿布	1枚
19	中川 久	Q-12-10-A(それぞれの細部が全体を凌駕し始める時)	2012年	203.0×310.0	アクリル絵具、和紙・綿布	1枚
20	中川 久	Q-12-12-A(それぞれの細部が全体を凌駕し始める時)	2012年	334.8×203.5	アクリル絵具、和紙・綿布	1枚
21	中澤 直三郎	初冬	1980年	61.6×91.0	油彩・キャンバス	1面
22	野見山 暁治	明日にしよう	2001年	38.0×50.0	水彩・紙	1面
23	野見山 暁治	ながい一日	2001年	34.5×51.0	水彩・紙	1面
24	野見山 暁治	どうしよう	2001年	56.5×38.0	水彩・紙	1面
25	野見山 暁治	水の音	2001年	68.5×50.0	水彩・紙	1面
26	野見山 暁治	電話しよう	2001年	56.5×38.0	水彩・紙	1面
27	野見山 暁治	嘘じゃない	2012年	66.0×92.5	水彩・紙	1枚
28	野見山 暁治	振り返るな	2012年	66.0×92.5	水彩・紙	1枚
29	野見山 暁治	何と伝えよう	2012年	92.5×66.0	水彩・紙	1枚

NO	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	材質	員数
30	林辺 正子	文節と綜合 SYNECDOCHE	1997 年	45.0 × 180.0 × 直径 40.0	絹糸、鉄、木、パラフィン、鏡	1 体
31	平野 杏子	蘇生する善知識	1978 年	227.0 × 181.0	油彩・キャンバス	1 面
32	松尾 敏男	裾野暮色	2004 年	171.1 × 363.0	彩色・紙	1 面
33	松尾 敏男	五浦波静	2009 年	72.7 × 90.9	彩色・紙	1 面
34	山本 直彰	IKAROS-2011	2011 年	333.3 × 248.5	彩色・紙	3 面

寄託作品

NO	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	材質	員数
1	石田 徹也	みのむしの睡眠	1995 年	72.8 × 103.0	アクリル・紙	1 面
2	石田 徹也	大車輪	1995 年	103.0 × 72.8	アクリル・紙	1 面
3	石田 徹也	鯉の夢	1996 年	103.0 × 145.6	アクリル・板	1 面
4	石田 徹也	不安な夢	1996 年	103.0 × 145.6	アクリル・板	1 面
5	石田 徹也	コンビニエンスストアの母子像	1996 年	145.6 × 103.0	アクリル・板	1 面
6	石田 徹也	無題	1997 年頃	182.0 × 91.0	アクリル・板	1 面
7	石田 徹也	説教	1999 年	51.5 × 72.8	アクリル・板	1 面
8	石田 徹也	囚人	1999 年	36.4 × 51.5	アクリル・板	1 面
9	石田 徹也	起床	1999 年	72.8 × 51.5	アクリル・カンヴァス	1 面
10	石田 徹也	無題	2003 年頃	91.0 × 117.0	アクリル、油彩・カンヴァス	1 面
11	石田 徹也	深海魚	2003 年	60.6 × 91.0	アクリル、油彩・カンヴァス	1 面
12	石田 徹也	無題	2003 年頃	91.0 × 116.7	アクリル、油彩・カンヴァス	1 面
13	石田 徹也	転移	2004 年頃	91.0 × 91.0	アクリル、油彩・カンヴァス	1 面
14	小田 薫	トキノクラ	2009 年	50.0 × 43.0 × 80.0	鉄、銀箔	1 体
15	小田 薫	記憶の在り処	2010 年	90.0 × 70.0 × 210.0	鉄	1 体
16	小田 薫	天ヲ目指ス	2013-14 年	24.0 × 34.0 × 211.0	鉄	1 体
17	中村 岳陵	大阪四天王寺金堂壁画小下図	1959 年	各 38.0 × 37.0(12 点)	彩色・紙	5 面
18	中村 岳陵	妙義深秋	1963 年	61.2 × 73.0	彩色・紙	1 面
19	三瀬 夏之介	日本の絵/奇景	2005 年	各 190.0 × 915.0	彩色・紙	10 枚
20	三瀬 夏之介	だから僕はこの一瞬を永遠のものにしてみせる	2010 年	272.0 × 1456.0	彩色・紙	9 枚
21	三瀬 夏之介	空虚五度	2012 年	272.0 × 1456.0	彩色・紙	9 枚

(2) 展示

当館展覧会において下表のとおり作品を展示しました。

NO	種別	展覧会名	総出品点数	うち所蔵・寄託	うち借用
1	企画展	石田徹也展 - ノート、夢のしるし -	108	0	108
2	特集展	袴田京太郎展 - 人と煙、その他 -	51	0	51
3	特集展	新収蔵品展	58	58	0
4	企画展	ブラティスラヴァ世界絵本原画展	323	0	323
5	企画展	横山大観の富士展	54	1	53
6	特集展	現代日本画の巨匠 松尾敏男展	30	3	27
7	特集展	冬の所蔵品展 太陽と月と星をめぐる絵画	45	45	0
8	特集展	春の所蔵品展 気になる！大好き！これなあに！赤ちゃんたちのセレクション	45	45	0
9	特集展	ロビー展 小田薫の彫刻 記憶の住処	17	0	17
計	-	-	731点	152点	579点

(3) 貸出

開催展覧会の内容や意義、開催場所の設備・環境、作品の状態や当館での利用予定などを考慮し、下表の通り作品を貸し出しました。

NO	貸出先	展覧会名・会期	点数	作家・作品名
1	宮城県美術館、愛媛県立美術館、久万美術館、新潟市美術館	「洲之内徹と現代画廊 - 昭和を生きたと精神」2013年11月2日～12月23日、2014年1月25日～3月16日、4月12日～6月8日	1	原精一「煙草のむ男」
2	豊田市美術館	「愛知のリアリズム - 宮脇晴の周辺」1月7日～4月6日	1	椿貞雄「鶴沼風景」
3	世田谷美術館、岡山県立美術館	「岸田吟香・劉生・麗子 - 知られざる精神の系譜」2月8日～4月6日、4月18日～5月25日	5	岸田劉生「石垣ある道」「自画像」および寄託作品「大連風景」「新富座」「松坂屋風景」
4	石川県立美術館	「新紀元 - 革新の視座 - 加賀谷武、木下晋、久世建二、庄田常章、蓮田修吾郎の創造」4月20日～5月18日	3	木下晋「休息」「祈りの塔」「無心」
5	名古屋市美術館	「挑戦する日本画：1950～70年代の画家たち」7月5日～8月24日	1	工藤甲人「蝶の階段」
6	高松市美術館、岩手県立美術館	「三沢厚彦 ANIMALS 2014」7月11日～8月24日、9月6日～10月13日	2	三沢厚彦「Animal2007-01」「Animals2007-02」(寄託作品)
7	滋賀県立近代美術館、愛媛県立美術館、宇都宮美術館	「遊亀と靱彦 師からのたまもの・受け継がれた美」10月11日～11月24日、12月13日～2015年1月25日、4月5日～5月17日	11	安田靱彦「宇治合戦図」「日食」「宮本二天像」「赤星母堂像」「稚児文殊」「相撲の節」「孔子観河」「楠公」「寒香留古春」「新蔬」「阿呼詠詩」(寄託作品)
8	鹿児島市立美術館、下関市立美術館、横須賀美術館	「生誕110年 海老原喜之助展」10月2日～11月9日、11月15日～12月28日、2015年2月7日～4月5日	1	海老原喜之助「曲馬」
計	-	-	25点	-

展覧会

平成 26 年度 展覧会

(1) 企画展 石田徹也展 - ノート、夢のしるし -

種別	企画展
会期	4月12日(土)～6月15日(日)
主催	平塚市美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会
協賛	ライオン、清水建設、大日本印刷、損保ジャパン・日本興亜損保、日本テレビ放送網 神奈川中央交通株式会社
開館時間	9:30～17:00(入場は～16:30)
休館日	月曜日 *5月5日(月・祝)は開館。
観覧料	一般800円、高大生500円
開催日数	57日
観覧者数	18,066人
担当	勝山滋(当館学芸員)



《飛べなくなった人》1996年、静岡県立美術館蔵



石田徹也《燃料補給のような食事》1996年、静岡県立美術館蔵

内容

石田徹也は現代社会を鋭く風刺する画風で知られる画家です。1990年代のバブル崩壊後、世の中の価値観が大きく変わろうとする中で、社会に渦巻く不安に目を向け、時に辛辣に、時にユーモラスに描き続けました。

1973年、静岡県焼津市に生まれた石田徹也は、武蔵野美術大学を卒業後、広告グラフィックを意識した作品で頭角を現します。気鋭の画家として徐々に注目を集めはじめた矢先、踏切事故により31歳の若さでその生涯を閉じました。没後は遺作展や遺作集、また多くのメディアでも取り上げられ、大きな反響を呼びました。真骨頂ともいえる、さまざまな器物や風景と合体した「自画像」は、石田のまなざしを通じた、現代社会における匿名のものたちの象徴であり、痛みや矛盾を抱えて生きる人々の表現として、見るものの共感と呼んでいます。

本展では、代表作108点を核に、石田が遺した51冊ものノートやスケッチブックに描かれた、下絵やアイデアノートを初公開しました。また、石田の言葉を随所に紹介し、制作の過程や思考の跡をたどりました。高校生から40代を中心に大きな共感を得る石田徹也の作品を通じて、生きるとは何か、本当の幸せとは何かを考え直すきっかけとなる展示を企画し、石田徹也のユーモアという側面で一つのセクションを設けるとともに、「石田徹也さんへのメッセージ」を観覧者に書いていただき掲示する試みを行い好評を得ました。

なお会期中4月25日にBS日テレ「ぶらぶら美術・博物館」で紹介され、大きな反響があるなど歴代18位となる多くの観覧者がありました。

関連事業

ギャラリートーク

日時：4月12日(土)、4月26日(土)、5月10日(土)、6月7日(土) 各回14:00～15:00

参加者数：4月12日70人、4月26日70人、5月10日88人、6月7日90人

場所：展示室 及びミュージアムホール 申込不要、要観覧券

展覧会図録『石田徹也ノート』

発行月：2013年4月

価格：3,000円

体裁：A4版、335頁

内容：1章 起点「創作方法を探したい」

解説 石田徹也とその世代 川谷承子(静岡県立美術館)

2章 漂う人「現実の何かに光をあてる」

解説 石田徹也の作風と変化 - 1 杉本 積(砺波市美術館)

3章 変化「他人の自画像」

解説 石田徹也の作風と変化 - 2 杉本 積(砺波市美術館)

4章 ユーモア「ナンセンスへと近づくことだ」

解説 石田徹也特有のギャグ性について 勝山 滋(平塚市美術館)

5章 再生「とにかく かく」

解説 石田徹也のノート類について 堀切正人(常葉学園)

6章 発想源

解説 福島 直(足利市立美術館)

資料 作品リスト、年譜、文献目録

発行：(株)求龍堂

(2) 特集展 袴田京太郎展 人と煙、その他

種別	特集展
会期	4月19日(土)～6月22日(日)
主催	平塚市美術館
協賛	資生堂
協力	株式会社クラレ パラグラス
開館時間	9:30～17:00(入場は～16:30)
休館日	月曜日 *5月5日(月・祝)は開館。
観覧料	一般200円、高大生100円
開催日数	57日
観覧者数	13,976人
担当	土方明司(当館館長代理)



実物大の犬(2004年)作家蔵



扮する人(2012-13年)個人蔵・MA2ギャラリー蔵・作家蔵

内容

袴田京太郎(1963年静岡県生まれ)は、現在最も注目を集める彫刻作家のひとりです。1980年代後半から活動をはじめ、その斬新な作品のスタイルはそれまでの彫刻の概念を覆すものとして大きな注目を集めました。スタイルと共に使われる素材もまたユニークです。ベニヤ板やプラスチック、電気コードなどを用いて、思いもよらぬ作品を作り出しており、ときにダイナミックで、またユーモラスでもあり謎に満ちた不思議な「彫刻」となっています。見るものを困惑させ、面白がらせる作品の根底には、袴田が絶えず「彫刻とは何か」を自問し、「彫刻はその表面と不可視の内部との対立関係によって成立している」との認識があります。これにより、あくまでも彫刻にこだわりながら、彫刻の本質を問い続け、核心を掘り下げることで新たな彫刻の在り様を提示することとなります。

近年の作品では何色もの色鮮やかなアクリル板を積み重ね、フィギュラティブなかたちが作られています。カラフルで一見ポップな雰囲気を持つこの作品群も、可視と不可視、虚と実を併せ持つ袴田ならではの「彫刻」であるといえるでしょう。

今回の展覧会では、こうした彫刻への独自のアプローチを見せる袴田の作品世界を新作・近作を中心に各年代の作品も交えて紹介しました。

関連事業

特別鼎談「彫刻という信仰」

日時：4月19日(土)14:00～15:30

講師：戸谷成雄(彫刻家)、富井大裕(美術家)、袴田京太郎(彫刻家)

参加者数：150人

場所：ミュージアムホール 申込不要

袴田京太郎によるギャラリートーク

日時：5月3日(土)、5月31日(土) 各回 14:00～14:40

参加者数：5月3日40人、5月31日70人

場所：展示室 申込不要、要観覧券

ワークショップ「見えないものをつくろう」

日時：5月17日(土)13:30～16:30

講師：袴田京太郎(本展作家)

参加者数：18人

場所：アトリエ 要申込

展覧会図録『袴田京太郎展 人と煙、その他』

発行月：2014年4月

価格：1,800円

体裁：64頁

編集：土方明司(当館館長代理)

内容：対談 袴田京太郎 vs 土方明司(当館館長代理)

図版点数約74点(カラー)

発行：平塚市美術館

(3) 特集展 新収蔵品展

種別	特集展
会期	7月12日(土)～9月28日(日)
主催	平塚市美術館
開館時間	9:30～17:00(入場は～16:30) 「プラティスラヴァ世界絵本原画展」開催中は開館時間を1時間延長。
休館日	月曜日 *7月21日(月・祝)、9月15日(月・祝)は開館、翌火曜休館
観覧料	一般200円、高大生100円
開催日数	68日
観覧者数	8,937人
担当	家田奈穂(当館学芸員)



絹谷幸二《あうん・祈り》1996年



尾形月耕《江口の君》



高良眞木
《ふしぎなおはなし(5)夜空》の原画 2003年

内容

2013 年度に新たに寄贈・寄託を受けた作品 146 点の中から 45 点を展示しました。

昨年、当館で開催した展覧会をきっかけに魅力的な作品が数多く収蔵されました。絹谷幸二はあふれるような色彩を用いたダイナミックな作品で見る者を圧倒します。藤山貴司のウサギや馬をモチーフにした心象性の強い作品は、生と死、創造と終末を強く意識する画家の世界観を暗示しています。また、大下藤次郎、三宅克己、野見山暁治、堀井英男らの水彩画が収集されたのも、昨年度開催の「水彩画 - みづゑの魅力」展を契機としています。明治時代以降の日本での水彩画の普及に大きな役割を果たした大下藤次郎、三宅克己の風景画のほか、現在も油彩画のジャンルで精力的に活動している野見山暁治も水彩画ならではののみずみずしい作品を生んでいます。更に、銅版画で国際的な活躍を見せた堀井英男も、晩年に水彩画の制作に集中し、にじみやぼかしを活かした抽象的な表現を行いました。

そのほか油彩画では久野和洋、平野杏子、日本画では尾形月耕、斉藤典彦、木版画に吹田文明、また、高良眞木による絵本『ふしぎなおはなし』（古今社、2003 年）の原画や茅ヶ崎市在住で水彩連盟展で活躍した三橋兄弟治の水彩画を展示し、多様な美術表現のあり方を、ご鑑賞いただきました。

関連事業

ギャラリートーク

日時：8月16日(土)、9月27日(土) 各回 14:00~15:00

参加者数：8月16日 15人、9月27日 13人

場所：展示室 申込不要、要観覧券

(4) 企画展 プラティスラヴァ世界絵本原画展 絵本をめぐる世界の旅

種別	企画展
会期	7月19日(土)~8月31日(日)
主催	平塚市美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会
後援	スロヴァキア共和国大使館
協賛	ライオン、清水建設、大日本印刷、損保ジャパン・日本興亜損保、日本テレビ放送網、神奈川中央交通株式会社
協力	スロヴァキア国際児童芸術館(BIBIANA)、(社)日本国際児童図書評議会(JBBY)
開館時間	9:30~18:00(入場は~17:30) 会期中開館時間を1時間延長
休館日	月曜日 *7月21日(月・祝)は開館、翌火曜休館
観覧料	一般800円、高大生500円
開催日数	38日
観覧者数	11,913人
担当	安部沙耶香(当館学芸員)



きくちちき『しろねこくろねこ』の原画、2012年 (c)きくちちき



はいじまのぶひこ『きこえる?』の原画、2012年 (c)はいじまのぶひこ

内容

スロヴァキア共和国の首都ブラティスラヴァで2年ごとに開催される「ブラティスラヴァ世界絵本原画展」(略称BIB=Biennial of Illustrations Bratislava)は、隣国のチェコ共和国と合わせてひとつの国・チェコスロバキアであった1967年、ユネスコと国際児童図書評議会の提唱により始まり、2013年に開催された第24回BIBでは、49か国、362名、2,344点におよぶ作品が出品されました。今や世界最大規模の絵本原画コンクールとなった同展は、実際に出版された絵本の原画を審査の対象にすることを特徴にしており、芸術性が高い作品や、実験的でユニークな作品が集まることでも知られています。今回は、準グランプリに相当する「金のりんご賞」を日本人作家2人が受賞するという快挙があり、大きな注目を集めました。

このたびの展覧会では、各国内での選考を経てノミネートされ、2013年9月にブラティスラヴァで行われた国際審査によって決定した、グランプリをはじめとする受賞作品および日本からの出品作品を紹介しました。また、特別展示として、受賞作品以外からも注目に値する秀逸な作品を多数ピックアップし、絵本をめぐる小さな世界旅行をお楽しみいただきました。

関連事業

記念対談

日時：7月19日(土)14:00～15:30

講師：きくちちき(絵本作家)、広松由希子(絵本評論家)

参加者数：70人

場所：ミュージアムホール 申込不要、先着順

ワークショップ「絵本作家きくちちきさんと大きなネコを描こう!!」

日時：7月20日(日)13:30～16:30

講師：きくちちき(絵本作家)

参加者数：12人

場所：アトリエ 要申込

担当学芸員によるギャラリートーク

日時：7月26日(土)、8月23日(土) 各回11:00～11:30

参加者数：7月26日 21人、8月23日 33人

場所：展示室 申込不要、要観覧券

「みんなで選ぼうお気に入りの絵本原画!!ひらつか子ども審査員賞」

内容：本展来場の中学生までを対象として、出品作品の中からお気に入りの原画を選んで投票してもらいました。

投票期間：7月19日(土)～8月10日(日)

発表期間：8月16日(土)～8月31日(日)

参加者：568人

夏休みに美術館・博物館・図書館をめぐる!スタンプラリー

内容：文化ゾーンの上記3施設でスタンプラリーを実施しました。

実施期間：7月19日(土)～8月31日(日)

参加者：1250人

公民館・図書館・美術館協働 展覧会鑑賞と絵本のおはなし会

東ブロック公民館(大野、八幡、四之宮、中原、松が丘、大原、南原)

日時：7月24日(木)13:30～15:00

参加者数：42人

西ブロック公民館（金目、金田、土屋、吉沢、旭北、旭南）

日時：8月16日(土)10:00～12:00

参加者数：14人

展覧会図録『ブラティスラヴァ世界絵本原画展 絵本をめぐる世界の旅』

発行年：2014年

価格：2,000円

体裁：A4変型判、160頁

編集：広松由希子、他各展覧会開催館担当者

内容：図版点数約350点（カラー）

発行：平塚市美術館、他各展覧会開催館、読売新聞社、美術館連絡協議会

（5）企画展 横山大観の富士展

種別	企画展
会期	10月11日(土)～11月24日(月・振休)
主催	平塚市美術館
特別協力	公益財団法人 横山大観記念館、横浜ゴム株式会社、日産車体株式会社、DNライティング株式会社
協賛	株式会社 葦、神奈川中央交通株式会社
開館時間	9:30～17:00(入場は～16:30)
休館日	月曜日 *10/13(月・祝)、11/3(月・祝)は開館、翌火曜休館。11/24(月・振休)は開館
観覧料	一般900円、高大生500円
開催日数	39日
観覧者数	16,414人
担当	江口恒明(当館学芸員)



砂丘に聳ゆ（1941年）メナード美術館蔵



春光(樹海)（1946年）ひろしま美術館蔵

内容

明治元(1868)年に生まれた横山大観は、東京美術学校に入学し岡倉天心や橋本雅邦らの指導を受け、日本画の革新に取り組み、近代日本画の成立と発展に多大な影響を与えました。その横山大観が、1940(昭和15)年頃から、富士をモチーフとした作品を数多く描いたことで知られていますが、それ以前の画業の初期・明治大正時代にも、富士の作品を制作していました。

本展では、初期から晩年に至るまで、大観の描いた富士を一堂に集め、その画業を振り返ります。明治・大正期の富士は、琳派の研究をいかしたもので、鮮やかな色彩と明快な構図により、装飾的でおおらかな造形感覚を見ることができます。昭和初期以降は、前景にある山々や雲海をしたがえるようにして聳え立つ富士へと変わり、国威発揚のイメージを前面に出した威厳に満ちた作品を描きました。戦後になっても表現の工夫を怠らず情熱をそそぎ、富士の作品を描き続けたのです。横山大観は、造形的な試みやモチー

フに託す意味を変えながらも、生涯を通じて富士に対して格別の思いを寄せていました。作家にとって特別な意味をもつ富士をテーマに、その画業をたどりました。

関連事業

講演会「大観先生のこと」

日時：10月19日(日) 14:00～15:30

講師：松尾敏男(日本画家、日本美術院理事長)

参加者数：200人

場所：ミュージアムホール 申込不要

ギャラリートーク

日時：10月18日(土)、11月15日(土) 各回14:00～14:40

参加者数：10月18日 50人、11月15日 65人

場所：展示室 申込不要、要観覧券

鑑賞&トーク「富士山の前であなたも学芸員」

日時：10月16日、10月23日、10月30日、11月6日、11月13日、11月20日(いずれも木曜日)

各回13:30～14:00

参加者数：6回合計 27人

場所：展示室 申込不要、要観覧券

公民館・美術館協働 展覧会鑑賞講座と日本画の描き方講座

東ブロック公民館(大野、八幡、四之宮、中原、松が丘、大原、南原)

日時：10月30日(木) 10:00～12:00

参加者数：57人

展覧会図録『横山大観の富士』

発行月：2014年10月

価格：1,500円

体裁：128頁

内容：目次

大観と富士 草薙奈津子(当館館長)

明治期の富士と朦朧体 佐藤志乃(横山大観記念館学芸員)

近代の富士のイメージ・大観の富士図 江口恒明(当館学芸員)

図版

作品解説

横山大観 略年譜

横山大観 文献目録

発行：平塚市美術館

(6) 特集展 現代日本画の巨匠 松尾敏男展

種別	特集展
会期	10月11日(土)～11月30日(日)
主催	平塚市美術館
開館時間	9:30～17:00(入場は～16:30)
休館日	月曜日 *10/13(月・祝)、11/3(月・祝)は開館、翌火曜休館。11/24(月・振休)は開館
観覧料	一般200円、高大生100円
開催日数	45日
観覧者数	15,702人
担当	勝山滋(当館学芸員)



夜想譜(1990年)長崎県美術館蔵



篝火(1979年)個人蔵

内容

松尾敏男(1926 -)は長崎に生まれ、現在横浜市に住む現代日本画家です。1943年、日本美術院の堅山南風に師事し、49年から再興院展に入選。62年以降奨励賞・白寿賞を連年受賞し、70年「樹海」が日本美術院賞・大観賞を受賞のち、翌年同人に推挙されました。79年に「サルナート想」が日本藝術院賞、2012年文化勲章を受章。現在日本画壇を代表する一人として活躍し、日本美術院理事長の重責を担っています。

画業初期の不安をテーマにした作品ののち、花鳥画や人物画、ヴェネチアに触発された風景画など幅広い作品のなかで、師の南風、さらに横山大観へとさかのぼる現代日本画の正系をつぐ清澄な画境を示しています。

本展は、初期から現在までの代表作30点により、60年を超える松尾敏男の画業の高みを紹介するもので、全国では4年ぶり、神奈川県内では初めてとなる本格的な松尾敏男の回顧展でした。

関連事業

講演会「大観先生のこと」

日時：10月19日(日)14:00～15:30

講師：松尾敏男(日本画家、日本美術院理事長)

参加者数：200人

場所：ミュージアムホール 申込不要

ギャラリートーク

日時：10月25日(土)、11月22日(土) 各回14:00～15:00

参加者数：10月25日 14人、11月22日 31人

場所：展示室 申込不要、要観覧券

ワークショップ「松尾先生と一緒に墨で描こう!」

日時：11月8日(土)13:30~16:30

講師：松尾敏男展(日本画家、日本美術院理事長)

参加者数：17人

場所：アトリエ 要申込

(7) 特集展 ロビー展 小田薫の彫刻 - 記憶の住処 -

種別	特集展
会期	12月2日(火)~平成27年4月5日(日)
主催	平塚市美術館
開館時間	9:30~17:00
休館日	月曜日、12月29日(月)~1月3日(土) *1月12日(月・祝)開館、翌火曜日休館
観覧料	-
開催日数	103日
観覧者数	6,481人
担当	勝山滋(当館学芸員)



《天ヲ目指ス》 2013年



《シロノクラ》 2008年

内容

2007年から開催してきた美術館2階テーマホールを利用したロビー展は今回7回目となり空調工事による休館をのぞき毎年、高さ11メートルのさわやかな空間で展示を行っています。7回目となる今回は立体造形作家で茅ヶ崎市在住の小田薫作品をとりあげ、東京藝術大学大学院(工芸研究領域(鍛金))在学中の《通ひ路 新橋》(2006年)から近作の《ゆめかうつつか》にいたる17点を展示しました。

関連事業

作家によるギャラリートーク

日時：12月23日(火・祝) 14:00~14:40

参加者数：13人

場所：テーマホール 申込不要

ワークショップ「大人のためのワークショップ 銅板をたたいて盃作りに挑戦!」

日時：1月24日(土)13:30~16:00

講師：小田薫(鍛金作家)

参加者数：8人

場所：アトリエ 要申込

ワークショップ「こどものためのワークショップ 錫を叩いてマドラーづくりに挑戦！」

日時：2月7日(土) 13:30~16:30

講師：小田薫(鍛金作家)

参加者数：8人

場所：アトリエ 要申込

(8) 特集展 冬の所蔵品展 - 太陽と月と星をめぐる絵画

種別	特集展
会期	12月6日(土)~平成27年2月15日(日)
主催	平塚市美術館
開館時間	9:30-17:00(入場は-16:30)
休館日	月曜日、12月29日(月)~1月3日(土) *1月12日(月・祝)開館、翌火曜日休館
観覧料	一般200円、高大生100円
開催日数	57日
観覧者数	3,068人
担当	家田奈穂(当館学芸員)



近藤弘明《幻光 - 御感の藤》、1987年



高良眞木《日月》、1956年

内容

冬の所蔵品展では、「太陽と月と星をめぐる絵画」と題して、太陽と月と星を描き出した近代から現代までの作品45点をご紹介します。

伊藤彬や工藤甲人、近藤弘明らは、闇夜に浮かぶ月や夕陽に照らされた幻想的な光景を表して、画家それぞれの内面世界を追究しています。また、月と同じく闇夜を照らす星々や星座に着想を得た作品も見ることができます。一方、勝呂忠や三岸節子の作品は、太古の太陽信仰を想起させる作品を生み、山本直彰は、ギリシャ神話のイカロスの物語をモチーフにして現代に生きる人々の生と死といった深淵なテーマを大画面に表しています。本展では、日本画や洋画、版画に表された太陽と月と星をめぐるさまざまな表現をご覧ください。

関連事業

ギャラリートーク

日時：12月20日(土)、1月17日(土)、2月14日(土) 各回14:00~14:40

参加者数：12月20日 8人、1月17日 10人、2月14日 15人

場所：展示室 申込不要、要観覧券

(9) 特集展 春の所蔵品展

気になる!大好き!これなあに?赤ちゃんたちのセレクション

種別	特集展
会期	平成27年2月21日(土)～4月12日(日)
主催	平塚市美術館
協力	赤ちゃんからのアートフレンドシップ協会、アートケアひろば
助成	美術館連絡協議会
開館時間	9:30～17:00(入場は～16:30)
休館日	月曜日
観覧料	一般200円、高大生100円
開催日数	44日
観覧者数	3,809人
担当	安部沙耶香(当館学芸員)



濱田樹里《流・転・生》、2012年

内容

当館では平成24年度より乳幼児と保護者のための展覧会鑑賞ツアーを実施しています。これは乳幼児と美術作品との最初の出会いの場を用意し、美術作品を通じて子育てを支援するものです。子ども向けあるいは赤ちゃん向けの展覧会を実施している美術館は多数ありますが、その作品選定はあくまでも大人から見た、子どもが興味を持ちそうな作品です。しかし、当館で実施している鑑賞ツアーの記録では、乳幼児が喜びそうだと判断した作品に必ずしも反応するとは限らず、むしろ予想外の作品に反応を示す乳幼児が多いことが分かりました。こうしたことをふまえ、大人の先入観を排除し、乳幼児が多く反応を示した作品を展示する本展覧会を企画いたしました。

関連事業

お気に入りの作品を選ぼう!!

日時：2月21日(土)～4月12日(日)

対象：0才から小学生

参加者数：931人

講演会「アートで育む親子コミュニケーション ～美術館における子育て支援の実践～」

日時：3月14日(土) 14:00～15:30

講師：富田めぐみ(アートケアひろば会長)

場所：ミュージアムホール 申込不要

参加者数：30人

「0才児からの鑑賞ツアー」

日時：2月21日(土)、26日(木) 10:00～10:30、11:00～11:30

講師：富田めぐみ(アートケアひろば会長)

参加者数：21日 80人、26日 57人

場所：ミュージアムホール、展示室 要申込

ギャラリートーク

日時：3月7日(土)14:00 ~ 14:30

場所：展示室1 要観覧券

参加者数：10人

教育普及

平成 26 年度実施プログラム

37 プログラムを実施。1,226 人

担当：安部沙耶香(当館学芸員)、久保田知美(当館嘱託員)

1 体験アートセラピー 親子でパステルアート		参加者人数 22 人
日数・開催日	4月5日(土)	講師：福山恵美子(アートセラピスト)
対象	親子(小中学生)	内容：無心に作品をつくることで心を癒すアートセラピー 講座。
材料費	200 円	
2 木炭で描くデッサン教室		参加者人数 17 人
日数・開催日	4月12日(土)午前・午後	講師：山中まんぼう(アーティスト)他2名
対象	小中学生	内容：木炭を使って、花や人形、カメラなどの静物をデッサンしました。
材料費	300 円	
3 遊んでのびのび赤ちゃんアート 春		参加者人数 44 人
日数・開催日	4月17日(木),5月15日(木),6月5日(木)連続講座	講師：富田めぐみ(アートケアひろば会長)
対象	親子(1才~2才3ヶ月)	内容：お子さんと一緒に絵を描き、展覧会を鑑賞しました。
材料費	500 円	
4 美術館の裏側みせます。 バックヤードツアー		参加者人数 22 人
日数・開催日	5月10日(土)	講師：江口恒明(当館学芸員)
対象	小学生~一般	内容：普段非公開の裏方スペースを紹介し、美術館の舞台裏の仕事について紹介しました。
材料費	無料	
5 美術館館長による近代日本画史講座		参加者人数 27 人
日数・開催日	5月14日(水),7月9日(水),9月10日(水),11月12日(水),1月14日(水),3月11日(水)連続講座	講師：草薙奈津子(当館館長)
対象	一般	内容：近代(明治・大正・昭和戦前まで)の日本画史について、学びました。
材料費	無料	
6 袴田京太郎展関連事業「見えないものをつくろう」		参加者人数 18 人
日数・開催日	5月18日(日)	講師：袴田京太郎(彫刻家)
対象	小学生~一般	内容：目隠しをして粘土で立体作品を作り、今度はじっくり観察して絵を描きました。
材料費	200 円	
7 東海大学協働事業 デッサン教室「所蔵彫刻作品を描いてみよう」一般の部		参加者人数 11 人
日数・開催日	6月8日(日)	講師：河野孝博、滝波重人(東海大学教員)、同大学院生5名
対象	18才~一般	内容：館内彫刻を木炭でデッサンしました。
材料費	500 円	
8 七夕関連事業「カササギで想いをつなごう」		参加者人数 7 人
日数・開催日	6月28日(土),29日(日)連続講座	講師：依田梓(美術家)
対象	小学生~一般	内容：七夕伝説に登場するカササギの形の七夕飾りを作り、テーマホールにて展示をしました。
材料費	500 円	
9 遊んでのびのび赤ちゃんアート 夏		参加者人数 30 人
日数・開催日	7月3日(木),8月7日(木),9月4日(木)連続講座	講師：富田めぐみ(アートケアひろば会長)
対象	親子(1才~2才3ヶ月)	内容：お子さんと一緒に絵を描き、展覧会を鑑賞しました。
材料費	500 円	

10 体験アートセラピー 「親子で楽しく塗り絵遊び」			参加者人数 17人
日数・開催日	7月12日(土)	講師：福山恵美子(アートセラピスト)	
対象	親子(小・中学生)	内容：アートセラピストが作った海の生き物の塗り絵を色鉛筆で塗りました。	
材料費	200円		
11 プラティスラヴァ世界絵本原画展関連事業 絵本作家きくちきさんと一緒に大きなネコを描こう!!			参加者人数 12人
日数・開催日	7月20日(日)	講師：きくちき(絵本作家)	
対象	4才～小学生	内容：2×6メートルの大きな紙に講師と一緒にネコの絵を描きました。作品は展覧会会期中廊下に展示しました。	
材料費	800円		
12 保育士による 作ってあそぼうわくわくランド			参加者人数 68人
日数・開催日	7月26日(土)	講師：市立保育園保育士の方々7名	
対象	6才までの未就学児	内容：保育士と一緒に、廃材を利用した4種類のおもちゃを作りました。	
材料費	無料		
13 東海大学のお兄さん・お姉さんと、美術館で遊ぼう!			参加者人数 8人
日数・開催日	8月2日(土)	講師：東海大学インターン生3名	
対象	親子(小・中学生)	内容：東海大学のインターン生が講師となってアートカードゲームをし、展示室でクイズをしました。	
材料費	無料		
14 中学生ボランティアによる 缶バッジ・プラバンづくりワークショップ			参加者人数 282人
日数・開催日	8月8日(金),9日(土),10日(日)	講師：当館学芸員と中学生ボランティアスタッフ	
対象	3才～一般	内容：中学生ボランティアスタッフと一緒にオリジナル缶バッジ作りを体験しました。	
材料費	1個50円		
15 作ってあそぼうわくわくランド			参加者人数 114人
日数・開催日	8月23日(土)	講師：市立保育園保育士の方々8名	
対象	6才までの未就学児	内容：保育士と一緒に、廃材を利用した4種類のおもちゃを作りました。	
材料費	無料		
16 キッズ鑑賞ツアー 夏			参加者人数 25人
日数・開催日	8月28日(木)	講師：富田めぐみ(アートケアひろば会長)	
対象	3才～小学生(赤ちゃん同伴可)	内容：お子さんと一緒に新収蔵品展を鑑賞しました。	
材料費	無料		
17 リピート鑑賞会			参加者人数 46人
日数・開催日	8月29日(金)	講師：富田めぐみ(アートケアひろば会長)	
対象	2013年度赤ちゃん/キッズアート・鑑賞ツアー参加者	内容：過去の参加者を対象に、新収蔵品展を鑑賞しました。	
材料費	無料		
18 元気にのびのび キッズアート			参加者人数 45人
日数・開催日	10月2日(木),11月6日(木),12月11日全3回講座	講師：富田めぐみ(アートケアひろば会長)	
対象	親子(2.6才～4.0才)	内容：絵具でお絵かきをしたり、展覧会を鑑賞しました。	
材料費	500円		
19 体験アートセラピー「塗り絵でリフレッシュ」			参加者人数 15人
日数・開催日	10月4日(木)	講師：福山恵美子(アートセラピスト)	
対象	中学生～一般	内容：マンダラ模様の塗り絵を各自選んで、色鉛筆で塗りました。	
材料費	200円		
20 みんなの光るどろだんご			参加者人数 38人
日数・開催日	10月18日(日)	講師：岩月真由子(土の美術家)	
対象	小・中学生	内容：左官の技法「千石磨き」を使って光るどろだんごをつくりました。	
材料費	1000円		

21 東海大学協働事業 デッサン教室「収蔵彫刻作品を描いてみよう」中高生の部			参加者人数 12人
日数・開催日	10月26日(日)	講師：吉村維元、仙谷朋子(東海大学教員)、同大学院生5名	
対象	中高生	内容：館内彫刻を木炭デッサンしました。	
材料費	無料		
22 バックヤードツアー プレミアム			参加者人数 12人
日数・開催日	11月2日(日)	講師：勝山滋(当館学芸員)	
対象	小学生～一般	内容：普段は非公開の美術館の裏側をめぐりました。	
材料費	無料		
23 松尾敏男展関連事業「松尾先生と一緒に墨で描こう！」			参加者人数 17人
日数・開催日	11月8日(土)	講師：松尾敏男(日本画家)	
対象	小学生～一般	内容：墨を使って自由に様々なものを描きました。	
材料費	300円		
24 初めての油絵教室			参加者人数 17人
日数・開催日	11月9日(日)	講師：山中マンボウ(アーティスト)	
対象	小・中学生	内容：油絵で静物を描きました。	
材料費	1500円		
25 表装文化伝統体験 掛け軸作り入門			参加者人数 11人
日数・開催日	11月15日(土),22日(土),29日(土)	講師：長谷部雄三、清水達也 小林喜代美(表装文化伝承支援協会理事)	
対象	高校生～一般	内容：3回連続講座で小さな葉書掛け軸を作りました。	
材料費	2000円		
26 はじめてのリトグラフ			参加者人数 7人
日数・開催日	12月7日(日)	講師：城戸宏(版画工房主宰)	
対象	中学生～一般	内容：ポリエステルリトグラフという版画技法でクリスマスカードを作りました。	
材料費	1000円		
27 キッズ鑑賞ツアー 冬			参加者人数 25人
日数・開催日	12月14日(日)	講師：富田めぐみ(アートケアひろば会長)	
対象	0才～小学生(赤ちゃん同伴可)	内容：お子さんと一緒に「冬の所蔵品展-太陽と月をめぐる絵画」を鑑賞しました。	
材料費	無料		
28 遊んでのびのび 赤ちゃんアート 冬			参加者人数 26人
日数・開催日	1月8日(木),2月5日(木),3月5日(木) 連続講座	講師：富田めぐみ(アートケアひろば会長)	
対象	親子(1.0才～2.3才)	内容：お子さんと一緒に絵を描き、展覧会を鑑賞しました。	
材料費	500円(全3回分)		
29 銅版画講座 メゾチントに挑戦!!			参加者人数 7人
日数・開催日	1月18日(日),25日(日)	講師：江本創(造形作家)	
対象	中学生～一般	内容：2回連続講座で銅版画技法メゾチントで作品を作りました。	
材料費	1200円		
30 ロビー展 小田薫の彫刻関連事業 大人のためのワークショップ - 銅板をたたいて盃作りに挑戦!			参加者人数 8人
日数・開催日	1月24日(土)	講師：小田薫(鍛金作家)	
対象	高校生～一般	内容：銅板をたたいて盃を作りました。	
材料費	2000円		
31 陶芸講座			参加者人数 20人
日数・開催日	2月1日(日),15日(日),22日(日) 連続講座	講師：小田薫(鍛金作家)	
対象	小学生～一般	内容：手びねりで器をつくり、絵付け釉薬をかけてオリジナルの器を作りました。	
材料費	1000円		

32 ロビー展 小田薫の彫刻関連事業 子どものためのワークショップ - 錫をたたいてマドラー作りに挑戦!			参加者人数 8人
日数・開催日	2月7日(土)	講師: 小田薫(鍛金作家)	
対象	小・中学生	内容: 錫をたたいてマドラーを作りました。	
材料費	2000円		
33 インターン生と一緒に美術館を楽しもう!!			参加者人数 8人
日数・開催日	2月11日(水・祝)	講師: 東海大学インターン生3名	
対象	親子(小・中学生)	内容: 東海大学のインターン生が講師となってアートカードゲームをし、展示室でクイズをしました。	
材料費	無料		
34 春の所蔵品展関連事業 0才からの鑑賞ツアー			参加者人数 80人
日数・開催日	2月21日(土)	講師: 富田めぐみ(アートケアひろば会長)	
対象	親子(0才~2.0才)	内容: 「気になる!大好き!これなあに!春の所蔵品展」を鑑賞しました。	
材料費	無料		
35 春の所蔵品展関連事業 0才からの鑑賞ツアー			参加者人数 57人
日数・開催日	2月26日(木)	講師: 富田めぐみ(アートケアひろば会長)	
対象	親子(0才~2.0才)	内容: 「気になる!大好き!これなあに!春の所蔵品展」を鑑賞しました。	
材料費	無料		
36 木口木版画に挑戦			参加者人数 10人
日数・開催日	3月1日(日), 15日(日), 22日(日) 連続講座	講師: 三塩佳晴(版画家)	
対象	高校生~一般	内容: 木口木版画を作りました。	
37 キッズ鑑賞ツアー 春			参加者人数 33人
日数・開催日	3月7日(土)	講師: 富田めぐみ(アートケアひろば会長)	
対象	0才~未就園児	内容: お子さんと一緒に「気になる!大好き!これなあに!春の所蔵品展」を鑑賞しました。	
材料費	無料		

スクールプログラム

25プログラムを実施。614人

担当: 安部沙耶香(当館学芸員)、久保田知美(当館嘱託員)

1 先生のための美術鑑賞広場 石田徹也展			参加者人数 5人
日数・開催日	5月24日(土)	講師: 当館学芸員	
対象	小・中・高・特別支援学校の教職員	内容: 先生向けの鑑賞プログラムで、石田徹也展を鑑賞し、グループワークを行いました。	
材料費	無料		
2 伊勢原市小学校教育研究会研修			参加者人数 20人
日数・開催日	7月23日(水)	講師: 当館学芸員	
対象	伊勢原市小学校教育研究会の教員	内容: ギャラリートークを行いました。	
材料費	無料		
3 図画工作・美術・工芸の授業づくり研修講座			参加者人数 24人
日数・開催日	7月30日(水)	講師: 当館学芸員	
対象	小・中・高・特別支援学校の教職員	内容: 県立総合教育センターの依頼で鑑賞の授業についてのワーク、展示会ができるまでのレクチャーを行いました。	
材料費	無料		
4 平塚盲学校 彫刻鑑賞ツアー			参加者人数 18人
日数・開催日	7月31日(木)	講師: 当館学芸員	
対象	平塚盲学校及び県内盲学校の児童と介助者	内容: 館内にあるブロンズ彫刻を触って鑑賞する体験ツアーを行いました。	
材料費	無料		

5 先生のための美術鑑賞広場 プラティスラヴァ世界絵本原画展			参加者人数 10人
日数・開催日	8月1日(金)	講師：当館学芸員	
対象	小・中・高・特別支援学校の教職員	内容：学校の先生向けの鑑賞プログラムで、プラティスラヴァ世界絵本原画展を鑑賞し、グループワークを行いました。	
材料費	無料		
6 西湘地区教職員組合研修			参加者人数 20人
日数・開催日	8月5日(火)	講師：当館学芸員	
対象	西湘地区教職員組合の教職員	内容：西湘地区教職員組合の依頼。スクールプログラムの説明、アートカード体験、ギャラリートークを行いました。	
材料費	無料		
7 平塚市小学校教育研究会図工部会研修			参加者人数 37人
日数・開催日	8月6日(水)	講師：三ツ木紀英(NPOアルダ)、当館学芸員	
対象	小学校教育研究会図工部会の教職員	内容：小学校教育研究会図工部会の依頼で対話型鑑賞の体験、ギャラリートークを行いました。	
材料費	無料		
8 中高生ボランティアによる缶バッジ・プラバン作りワークショップ			参加者人数 14人
日数・開催日	8月6日(水)	講師：当館職員	
対象	中高生ボランティア参加希望者	内容：「缶バッジ・プラバン作りワークショップ」のボランティアをする中高生に説明会を行いました。	
材料費	無料		
9 先生向け体験ワークショップ 木版画講座			参加者人数 18人
日数・開催日	8月19日(火)	講師：三塩佳晴(版画家)	
対象	小・中・高・特別支援学校の教職員	内容：学校の先生向けの実技体験プログラム。で学校の授業で習う木版画の実技体験を行います。	
材料費	800円		
10 中学生のためのアート・サマーセミナー			参加者人数 8人
日数・開催日	8月20日(水)	講師：当館学芸員	
対象	小田原市立城北中学校美術部員と教員	内容：アトリエでアートカードを使ったワークをした後、プラティスラヴァ世界絵本原画展を鑑賞しました。	
材料費	無料		
11 中学生のためのアート・サマーセミナー			参加者人数 10人
日数・開催日	8月22日(金)	講師：当館学芸員	
対象	大磯町立国府中学校美術部員と教員	内容：アトリエでアートカードを使ったワークをした後、プラティスラヴァ世界絵本原画展を鑑賞しました。	
材料費	無料		
12 茅ヶ崎市・寒川町小学校研究会図工部会			参加者人数 42人
日数・開催日	8月22日(金)	講師：当館学芸員	
対象	小学校教育研究会図工部会の教職員	内容：小学校研究会図工部会の依頼でスクールプログラムの説明とギャラリートークを行いました。	
材料費	無料		
13 城島小学校 鑑賞ツアー			参加者人数 40人
日数・開催日	9月4日(木)	講師：当館学芸員	
対象	城島小学校	内容：アートカードゲームと展覧会鑑賞を行いました。	
材料費	無料		
14 先生のための美術鑑賞広場～横山大観と富士～			参加者人数 2人
日数・開催日	11月1日(土)	講師：当館学芸員	
対象	小・中・高・特別支援学校の教職員	内容：先生向けの鑑賞プログラムで横山大観と富士を鑑賞し、グループワークを行いました。	
材料費	無料		
15 大野小学校 鑑賞ツアー			参加者人数 120人
日数・開催日	11月12日(水)	講師：当館学芸員	
対象	大野小学校2年生と引率教諭	内容：アートカードゲーム、横山大観の富士展、松尾敏男展鑑賞、バックヤードツアーを行いました。	
材料費	無料		

16 神奈川県公立義務教育諸学校等事務主幹会研修			参加者人数 52人
日数・開催日	11月21日(金)	講師：当館館長	内容：展覧会鑑賞後、ミュージアムホールにて講演会を行いました。
対象	義務教育諸学校等事務主幹会の職員		
材料費	無料		
17 捜真小学校研修			参加者人数 6人
日数・開催日	11月22日(土)	講師：当館学芸員	内容：バックヤードツアー、アートカード、スクールプログラムの説明を行った後、展覧会の自由鑑賞を行いました。
対象	捜真小学校教職員		
材料費	無料		
18 大和市鑑賞ボランティア研修			参加者人数 15人
日数・開催日	1月15日(木)	講師：当館学芸員ほか	内容：大和市の対話による鑑賞事業における美術館訪問の事前研修を行いました。
対象	大和市鑑賞ボランティア		
材料費	無料		
19 吉沢保育園 園児鑑賞ツアー			参加者人数 20人
日数・開催日	1月22日(木)	講師：富田めぐみ(アートケアひろば会長)	内容：展覧会の鑑賞ツアーを行いました。
対象	吉沢保育園 年長組		
材料費	無料		
20 ワンポイント研修			参加者人数 13人
日数・開催日	1月23日(金)	講師：当館学芸員	内容：教育研究所の依頼でアートカードゲーム、対話による鑑賞を行いました。
対象	市内、近隣市小中学校の教員		
材料費	無料		
21 適応指導教室 鑑賞&紙バッグ作りワークショップ			参加者人数 13人
日数・開催日	1月27日(火)	講師：当館学芸員	内容：午前はアートカードゲーム、展覧会クイズと鑑賞、午後はポスターを利用して紙バッグを作りました。
対象	適応指導教室の生徒と引率教諭		
材料費	材料持参		
22 若草保育園 園児鑑賞ツアー			参加者人数 19人
日数・開催日	1月28日(水)	講師：富田めぐみ(アートケアひろば会長)	内容：展覧会の鑑賞ツアーを行いました。
対象	若草保育園 年長組		
材料費	無料		
23 大和市立引地台小学校 対話による鑑賞事業			参加者人数 55人
日数・開催日	1月29日(木)	講師：大和市ボランティア14名、ARDAスタッフ他6名	内容：大和市教育委員会の依頼で展示室にて対話による美術鑑賞を行いました。
対象	引地台小学校5年生と引率教諭		
材料費	無料		
24 平塚盲学校 彫刻鑑賞ツアー			参加者人数 5人
日数・開催日	2月3日(火)	講師：当館学芸員	内容：館内にあるブロンズ彫刻を触って鑑賞する体験ツアーを行いました。
対象	平塚盲学校の生徒と引率教諭		
材料費	無料		
25 須賀保育園 園児鑑賞ツアー			参加者人数 28人
日数・開催日	2月6日(金)	講師：富田めぐみ(アートケアひろば会長)	内容：展覧会の鑑賞ツアーを行いました。
対象	須賀保育園 年長組		
材料費	無料		

アートカード貸出

平塚市美術館を代表する所蔵作品 48 点のカードと遊び方の説明書を合わせたアートカードセットを学校向け教材として無料貸出を行っています。

貸出先	7 件(小学校 5 件、中学校 1 件、その他 1 件)
貸出学校所在地域	市内 1 件、横浜市 1 件、小田原市 2 件、大磯町 1 件、茅ヶ崎市 2 件
貸出個数	51 個

その他の事業

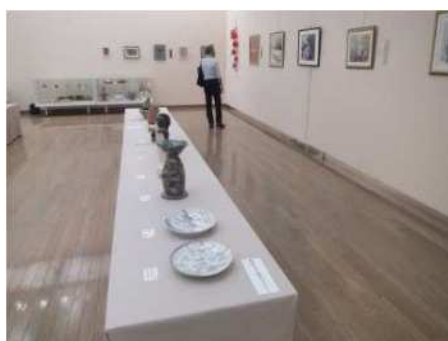
(1) 事業

第37回 平塚市展 6月29日(日)～7月13日(日)

主催	平塚市展委員会
協力	平塚市教育委員会・平塚書道協会・湘南美術工芸研究会・平塚美術家協会・平塚写真連盟
後援	平塚市・平塚市文化連盟・平塚商工会議所・SCN湘南ケーブルネットワーク(株)・FM湘南ナパサ・(公財)平塚市まちづくり財団
場所	展示室、市民アートギャラリー
日数	13日
入場者数	5,041人



実施風景



七夕飾り 6月29日(日)～7月6日(日)

主催	平塚市美術館
内容	平塚の七夕祭りにあわせて、ワークショップ「カササギで想いをつなごう」で制作した七夕飾りを展示しました。ワークショップ講師、参加者の方々により飾りつけられ、来館者の目を楽しませていました。 展示指導 依田梓(ワークショップ講師、美術家)
場所	テーマホール
日数	7日
入場者数	自由観覧



実施風景

ミュージアムコンサート 「秋の音楽会」 11月30日(日)

主催	平塚市美術館
内容	新日本フィルハーモニー交響楽団を中心としたメンバー（西本 徳子（バイオリン）、堀内 麻貴（バイオリン）、小山 千鶴（ビオラ）、矢野 晶子（チェロ）の4名）による弦楽四重奏のコンサートを開催しました。
場所	テーマホール
参加者数	202人



実施風景



こども年賀状とおとな絵手紙展 1月6日(火)～1月12日(月・祝)

主催	平塚市美術館
内容	美術館を身近に感じてもらうための取り組みとして、美術館への年賀状と絵手紙作品を募集し、市民アートギャラリーに展示する「こども年賀状とおとな絵手紙展」を開催しました。当企画は平成20年度の開催から数えて、今回で6回目となりました。会場内には、「お返事コーナー」や「ペーパークラフトコーナー」を設けて、来場者に楽しんでいただきました。またこの展覧会はボランティアスタッフにご協力いただき、開催しました。
場所	市民アートギャラリー 全室
日数	7日間
作品総数	319点
入場者数	428人



実施風景



ミュージアムコンサート 「ケルト音楽のひととき」 2月28日(土)

主催	平塚市美術館
内容	国内外で活躍中の「KAAZ Celtic band」が、スコットランドやブルターニュ地方(フランス)、アイルランドの伝統音楽を、オリジナルのアレンジで演奏しました。
場所	テーマホール
参加者数	186人



実施風景



(2) 団体向け研修・体験プログラム

No	種別	開催日	団体名	内容	人数
1	学習	4月22日 (火)	リン版画工房	「石田徹也展」見学とレクチャー	24人
2	学習	4月24日 (木)	南ブロック公民館(富士見、崇善、松原、なでしこ、須賀、花水)	「石田徹也展」「袴田京太郎展」見学とレクチャー(公民館自主事業 美術鑑賞講座)	32人
3	研修	5月14日 (水)	平安ネットワークひらつか	「石田徹也展」「袴田京太郎展」見学とレクチャー	10人
4	学習	5月23日 (金)	大神公民館	「石田徹也展」「袴田京太郎展」見学とレクチャー(公民館自主事業 美術鑑賞講座)	12人
5	学習	6月4日 (水)	アート21	「石田徹也展」「袴田京太郎展」見学とレクチャー	19人
6	学習	7月24日 (木)	東ブロック公民館(大野、八幡、四之宮、中原、松が丘、大原、南原)	「ブラティスラヴァ世界絵本原画手」「新収蔵品展」見学とレクチャー(公民館自主事業 美術鑑賞講座)	42人
7	学習	7月31日 (木)	中央公民館	「ブラティスラヴァ世界絵本原画手」「新収蔵品展」見学とレクチャー(公民館講座)	39人
8	学習	8月5日 (火)	岡崎公民館	「ブラティスラヴァ世界絵本原画展」「新収蔵品展」見学とレクチャー(公民館自主事業 美術鑑賞講座)	16人
9	学習	8月8日 (金)	よこすか文庫連絡会	「ブラティスラヴァ世界絵本原画展」「新収蔵品展」見学とレクチャー	12人
10	学習	8月16日 (土)	西ブロック公民館(金目、金田、土屋、吉沢、旭北、旭南)	「ブラティスラヴァ世界絵本原画展」「新収蔵品展」見学とレクチャー(公民館自主事業 美術鑑賞講座)	14人
11	学習	8月21日 (木)	南ブロック公民館(富士見、崇善、松原、なでしこ、須賀、花水)	「ブラティスラヴァ世界絵本原画展」「新収蔵品展」見学とレクチャー(公民館自主事業 美術鑑賞講座)	41人
12	学習	8月26日 (火)	大神公民館	「ブラティスラヴァ世界絵本原画展」「新収蔵品展」見学とレクチャー(公民館自主事業 美術鑑賞講座)	15人
13	学習	8月27日 (水)	世界のこどもの本を楽しむ会	「ブラティスラヴァ世界絵本原画展」「新収蔵品展」見学とレクチャー	6人
14	学習	9月25日 (木)	一水会	「新収蔵品展」見学とレクチャー	32人
15	学習	10月24日 (金)	中央公民館	「横山大観の富士展」「松尾敏男展」見学とレクチャー(公民館講座)	37人
16	学習	10月28日 (火)	神鋼産業(株)内 湘南三田会	「横山大観の富士展」「松尾敏男展」見学とレクチャー	38人
17	学習	10月30日 (木)	東ブロック公民館(大野、八幡、四之宮、中原、松が丘、大原、南原)	「横山大観の富士展」「松尾敏男展」見学とレクチャー(公民館自主事業 美術鑑賞講座)	57人
18	学習	10月31日 (金)	平塚 MAC	「横山大観の富士展」「松尾敏男展」見学とレクチャー	26人
19	学習	11月3日 (月)	学校法人瓜生山学園 京都造形芸術大学	「横山大観の富士展」「松尾敏男展」見学とレクチャー	5人

No	種別	開催日	団体名	内容	人数
20	学習	11月6日(木)	南ブロック公民館(富士見、崇善、松原、なでしこ、須賀、花水)	「横山大観の富士展」「松尾敏男展」 見学とレクチャー	35人
21	学習	11月6日(木)	西ブロック公民館(金目、金田、土屋、吉沢、旭北、旭南)	「横山大観の富士展」「松尾敏男展」 見学とレクチャー	14人
22	学習	11月7日(金)	神田公民館	「横山大観の富士展」「松尾敏男展」 見学とレクチャー	24人
23	学習	11月8日(土)	慶応三田観世会	「横山大観の富士展」「松尾敏男展」 見学とレクチャー	25人
24	学習	11月11日(火)	大神公民館	「横山大観の富士展」「松尾敏男展」 見学とレクチャー	26人
25	学習	11月12日(水)	大沢療育園	「横山大観の富士展」「松尾敏男展」 見学とレクチャー	6人
26	学習	11月14日(金)	平塚倫理法人会	「横山大観の富士展」「松尾敏男展」 見学とレクチャー	16人
27	学習	11月15日(土)	開成町教育委員会	「横山大観の富士展」「松尾敏男展」 見学とレクチャー	29人
28	学習	11月21日(金)	県立平塚江南高校同窓会	「横山大観の富士展」「松尾敏男展」 見学とレクチャー	11人
計					663人

(3) 実習および職場体験受け入れ

博物館実習の受け入れ

当館の事業に携わることで学芸員の職務を理解することを目的に、美術を専攻する博物館学実習生を、8大学から8人を受け入れ、平成26年6月から12月まで実習を行いました。

職場体験の受け入れ

市内の中学生、高校生等が現場で仕事を実際に体験することによって、社会性・勤労観やマナーを身につけ、将来の職業選択につながるよう、職場体験の受け入れを行っています。

No	実施日	参加者	人数	内容
1	7月10日(木)	平塚中等教育学校	8人	職場訪問(施設見学、質疑)
2	7月15日(火)	大磯高校	25人	館の概要講義及び施設見学
3	7月30日(水)	大磯中学校	2人	館の概要講義及び業務体験
4	11月6日(木)	春日野中学校	4人	館の概要講義及び業務体験
5	1月22日(木)	神明中学校	4人	館の概要講義及び業務体験
6	1月23日(金)	大住中学校	4人	館の概要講義及び業務体験
7	1月29日(木)	江陽中学校	2人	館の概要講義及び業務体験
参加者				計 49人

インターンシップの受け入れ

東海大学との連携事業として、インターンシップを3人受け入れ、平成26年5月から平成27年3月まで実施しました。

(4) 定例会議

美術館協議会

委員(敬称略) 8人

水沢勉(学識経験者)、河野孝博(学識経験者)、平野恵美子(社会教育関係者)、栗木雄剛(学校教育関係者)、鈴木靖(学校教育関係者)、府川文子(学校教育関係者)、加藤宏(社会教育関係者)、田平富實子(家庭教育の向上に資する活動を行う者)

開催日/議題

第1回 平成26年10月29日(水)	平成26年度上半期事業結果及び下半期の事業計画について
第2回 平成27年3月18日(水)	平成26年度下半期事業報告、平成27年度事業計画(案)について

美術品選定評価委員会

開催日：平成26年12月17日(水)

委員(敬称略) 5人

酒井忠康(学識経験者)、橋秀文(学識経験者)、原田光(学識経験者)、鶴見香織(学識経験者)、猿渡紀代子(学識経験者)

(5) その他

企画展「ブラティスラヴァ世界絵本原画展」で、午後6時までの開館延長と親子割引を実施した。開館延長時間中観覧者数は286人、親子割引は2,458人が利用した。

企画展「ブラティスラヴァ世界絵本原画展」で、ちひろ美術館(東京)、安曇野ちひろ美術館、板橋区立美術館との相互割引を実施した。いずれかの美術館の半券提示により、割引料金(一般800円が640円)となり、151人が利用した。

施設利用者等の統計

(1) 展覧会

観覧者数 月別統計

月	開館日数	企画展	特集展	合計
4月	26日	4,390人	2,490人	6,880人
5月	28日	8,057人	6,697人	14,754人
6月	25日	5,619人	4,789人	10,408人
7月	27日	2,542人	1,837人	4,379人
8月	27日	9,371人	6,038人	15,409人
9月	25日	-	1,062人	1,062人
10月	27日	6,063人	5,480人	11,543人
11月	27日	10,351人	10,222人	20,573人
12月	24日	-	1,364人	1,364人
1月	24日	-	3,136人	3,136人
2月	24日	-	3,356人	3,356人
3月	26日	-	3,908人	3,908人
4月	11日	-	1,594人	1,594人
計	321日	46,393人	51,973人	98,366人

学校観覧

		企画展			特集展		
		学校数	生徒数	教員数	学校数	生徒数	教員数
小学校	市内	5校	412人	28人	7校	546人	34人
	市外	3校	231人	14人	9校	616人	41人
中学校	市内	10校	113人	20人	11校	82人	21人
	市外	8校	105人	11人	8校	140人	12人
高等学校		4校	20人	5人	7校	58人	10人
計		30校	881人	78人	42校	1,442人	118人

(2) 貸出施設

市民アートギャラリー 月別統計

月	利用日数	団体数	入場者数
4月	31日	5団体	4,019人
5月	24日	7団体	4,355人
6月	39日	5団体	5,598人
7月	18日	6団体	5,100人
8月	24日	6団体	4,900人
9月	29日	7団体	4,374人
10月	27日	5団体	4,677人
11月	24日	4団体	9,243人
12月	18日	5団体	3,171人
1月	24日	5団体	5,491人
2月	24日	6団体	4,841人
3月	30日	8団体	4,459人
計	312日	69団体	60,228人

ミュージアムホール 月別統計

月	利用日数	団体数	入場者数
4月	2日	2団体	60人
5月	-	-	-
6月	5日	5団体	395人
7月	8日	7団体	709人
8月	-	-	-
9月	9日	8団体	408人
10月	3日	3団体	167人
11月	-	-	-
12月	12日	10団体	723人
1月	8日	6団体	479人
2月	2日	2団体	145人
3月	7日	7団体	447人
計	56日	50団体	3,533人

5月・8月・11月は、展覧会DVD上映のため利用団体はありません。

アトリエ 月別統計

月	利用日数	団体数	入場者数
4月	0日	0団体	0人
5月	0日	0団体	0人
6月	1日	1団体	20人
7月	0日	0団体	0人
8月	0日	0団体	0人
9月	0日	0団体	0人
10月	3日	3団体	95人
11月	0日	0団体	0人
12月	1日	1団体	27人
1月	13日	3団体	277人
2月	1日	1団体	5人
3月	0日	0団体	0人
計	19日	9団体	424人

施設の管理

(1) 防災訓練

実施日時

平成 27 年 3 月 17 日 (火) 8:50 ~ 9:30

内容

- ・全国瞬時警報システム (緊急地震速報) 配信時の対応
- ・大地震発生時の対応
- ・火災発生時の対応 (通報・初期消火・避難誘導)
- ・水消火器での消火訓練
- ・展示準備室からの避難経路の確認

想定

全国瞬時警報システムによる緊急地震速報が配信され、その後大地震が発生する。地震の影響で、市民アートギャラリー A 控室から火災が発生し、火災報知機が火災を感知する。

設備員が現場に急行し、火災発生を現認して事務所に報告する。初期消火活動を行うとともに、消防に通報し、来館者の避難誘導を行う。